

平成 28 年度全国高校総合体育大会バドミントン競技和歌山県予選会

於 和歌山県立新宮高等学校

6月4日(土) 男子団体1回戦 対 新翔高等学校 1-3
女子団体1回戦 対 粉河高等学校 3-2
2回戦 対 新宮高等学校 0-3 **ベスト8**



6月5日(日) **男子ダブルス**
栗栖星馬(3E)・石橋颯斗(3看) ベスト8
2回戦 対 星林高校 2-1 [21-15/14-21/21-16]
3回戦 対 粉河高校 2-0 [21-10/21-14/-]
4回戦 対 那賀高校 2-1 [18-21/21-17/24-22]
5回戦 対 耐久高校 0-2 [6-21/6-21/-]

女子ダブルス
安井美優(3E)・脇村摩弥(3B) ベスト16
2回戦 対 向陽高校 2-0 [21-11/22-20/-]
3回戦 対 星林高校 2-0 [21-16/21-16/-]
4回戦 対 新宮高校 0-2 [16-21/8-21/-]



6月6~7(月~火) **男子シングルス**
栗栖星馬(3E) ベスト32
2回戦 対 粉河高校 2-0 [21-16/21-15/-]
3回戦 対 神島高校 2-0 [21-14/21-10/-]
4回戦 対 耐久高校 0-2 [10-21/8-21/-]
吉本柊斗(2E) ベスト32
2回戦 対 近大附高校 2-0 [21-12/21-9/-]
3回戦 対 粉河高校 2-0 [21-16/21-11/-]
4回戦 対 新翔高校 0-2 [9-21/2-21/-]
石橋颯斗(3看) ベスト64
2回戦 対 紀央館高校 2-1 [21-16/18-21/21-10]
3回戦 対 向陽高校 1-2 [14-21/21-19/13-21]



僕達の最後の総体予選会が終わりました。

昨年、先輩方が引退された後、チームの戦力は下がり、加えて次期エースの前十字靭帯断裂という大怪我。どうやってチームを作っていけばいいか悩む日々が続きました。

石橋が本格復帰できたのは、3月。僕達には3ヶ月の時間しかありませんでした。2人での練習ができていない間に後輩も力をつけてきて、正直焦る気持ちもありました。

そんな中迎えた総体予選…チームの合言葉は「記録ではなく、記憶に残る試合を…」

初日の団体戦では、3年生が浮き足立ってしまい、練習してきた成果が出せない中、後輩が近畿大会にも出場したことがある対戦相手の3年生に果敢に向かっていく姿に勇気をもらいました。女子はチーム総力戦で、数年ぶりの1回戦突破を果たすことができました。

このままではいけない…個人戦が始まるにあたって気持ちを切りかえました。目標としているところまでは絶対に勝ち上がる!!…その強い気持ちでシャトルを追いかけてきました。

結果はダブルスベスト8。本当に嬉しかったです。でもこの結果につながったのは、大きな声で応援してくれるチームの仲間がいたからです。2階からの声援は本当に力になりました。

シングルスも全員が目標としているところまで勝ち上がった訳ではありませんが、みんな最後まで諦めないラリーをしていました。

胸を張って帰ってこれた総体予選会でした。やっとキャプテンとしての役割を果たせたような気がしています。ここまでこれたのも地域の方々が僕達の練習相手になってくれてアドバイスをくれたり、県外合宿に参加させて頂いたおかげだと思っています。後輩達には僕たちが達成できなかった近畿大会出場を目指して、毎日の練習を頑張ってもらいたいと思います。

今日まで支えてくれた家族、そしてチームの仲間…本当にありがとう。心から感謝しています。

バドミントン部 キャプテン 栗栖星馬